

光市医師会報

平成10年9月号

No. 311



奉納相撲 (杵崎神社)

光市医師会

〈会員動向〉

ホールインワン顛末記

光武医院 光武達夫

それは今年の8月14日、暑い日差しが照りつけるマタイ山口カントリークラブの6番ホールでの出来事です。私がティグラウンドから打った球は150ヤード離れたグリーンのカップに一打で入ったのです。つまりホールインワン(エース)が出たのです。

ただそれだけの事ですが、それだけではすまされないのがホールインワンなのです。

本来ならおめでたい、めったにないことがおきたのだから、まわりの人から祝福されお祝儀の一つでもいただけるというのがスジだと思うのですが、ことエースに関していえばその逆みたいなのです。まあ、そのせいでホールインワン保険が普及したのかもしれませんが。

この日私は総勢50名近い某コンペに参加していました。そのコンペの最中にエースを達成したこともその波紋を拡げることになったようです。コンペ終了後のミーティングで参加者全員から祝福を受けました。そこで私もつい気をよくして「皆さま方には記念品を」とうっかり口を滑らせてしまったのです。後で冷静になって、余計なことをいわずに済ませようと思いましたが後のまつりです。帰りの車中、祝賀会はどうしようかと、記念品はどんなものがいいかなとか考えたり、そうそう記念植樹も皆しているみたいだなとか、いろいろ楽しい段取りを立てながら帰りました。

私はゴルフをやり始めて25年程になり

ますが、ホールインワンをやったのは今回が初めてです。でもホールインワン保険には光市立病院にきてからすぐ入りましたから、かれこれ18年間払い続けたことになります。何故なら光カントリーはよく他のホールからボールが打ち込まれ危険だったので、逆に他の人を傷つけてはいけないという目的で入ったのです。18年間も払い続けているのだから、そろそろいい思いをさせてもらってもよいだろうと思っていました。帰宅して、さっそく家内とホールインワン保険の証書を探すのですがなかなか見つかりません。「エー、どうしてー」と2人とも眼の色が変わり真剣に探すややはりありません。今年の5月までの証書は出てきましたがその後のがどうしてもみつからないのです。その内、家内が妙なことを思い出しました。それは保険の掛け替えの時期5月に保険屋さんに「主人はホールインワンは出ないから止めようかなと言っているんですよ」と言ったというのです。でもそんな愚痴は毎年言っていたことです。しかし、今年から担当者が変わり、家内がいったことを真にうけたのでしょうか、すぐ保険屋さんに問い合わせると、その通りでした。ホールインワン保険は今年の5月中断され効力は既になくなっていました。がっかりしたのはあたりまえです。掛け替えの頃、18年間やってくれていた保険外交のおじいさんが急に亡くなられて、

担当の方が新人に変わったこともついていなかったのでしょうか。なんとも人生とは皮肉なものだと思ひ知らされました。かくの如き次第でホールインワンの出費を保険に頼ることは出来なくなりました。その後の事はいわずもがなですが、自分で出したホールインワンですから自分でなんとかするのは当然の事です。そう自分に言い聞かせて、関係者への記念品、祝賀会の開催、ホールに記念の植樹と一通り無事終了してホッと致しました。勿論同伴したキャディさんへの謝礼も忘れないようにしました。その後、保険担当者が訪れて言うには、1度ホールインワンを出された方は、続けて2度、3度と出される方が多いので保険に入っておかれた方がいいですよと保険加入を勧めるのです。しかし、それは私にとっては脅しの言葉としてしか受け取ることが

出来ませんでした。我々の軽率な言葉からおこった事ではありますが、18年間掛け続けた保険がもうちょっとというところで生かされなかった悔しさはだれにも解ってもらえるものではありません。「なにも今更」という思いで保険には入らないことにしました。保険担当者の言うことが当たってれば私はまた近々ホールインワンを出すかもしれません。努めてタンス預金でもしておこうかなと思っています。

今回のホールインワンの顛末はとんだ笑い話になってしまいましたが、でも、真夏の炎天下、打った球が緑のグリーンの白いカップにスーッと吸いこまれていく様はなんとも言い表わしようがない位壮快なものでした。この時程ゴルフを続けていてよかったと思ったことはありません。

吾が家のお客様

富 恵 哲

7月27日、十五年余り飼って居た老犬が死んでしまった。歯が抜けて、クッキーを口に入れてやらねば食べられない状態なので止むを得ないかも知れない。コリー犬なのに体型が小さく、顔も短く、出っ歯なのでとても立派なコリーとは云い難いが、何故か、今迄のとは異なって賢い様に思える。開業して三十年余り。当時医院は畠の中の一軒家なので、用心の為と、子供の遊び相手にと飼い始めたコリーである。初代は雌(めす)でマリーという可愛い名前を

附けた。所が、二代目は雄(おす)なのに何故か子供たちはマリーと呼んで居た。三代目も雄なのにこれ又、マリー、マリ君と呼ばれて居た。三代目は初代、二代目に比べて小さいので、チビマリと呼ばれ、その中子供達は、チビ太君と呼ぶ様になった。チビ太と呼ばば尻尾を振り乍ら寄って来るので患者にも可愛いがられた犬である。老衰で死んだとは云え、居るべきものが居ないので淋しい。お盆にはペット霊園に花を持ってお参りに出掛けたがその後は、他の

犬を飼う気が起らず、大きな犬小屋もそのまゝ。犬小屋には掃除の小母さんが花と水を供えている。

老犬が居なくなった頃、風呂の脱衣場の窓ガラスに小さな雨蛙（あまがえる）がへばりついて居るのに気が附いた。動かずじっとしてゐる。保護色の為か、灰色の背中のところどころに緑が混じっている。

或る朝、“へび”が蛙を狙って窓枠を登っているのを小母さんが発見。さあ大変と職員皆で走り廻り、火挟みを持って“へび”を捕え他所へ捨てて来た。一件落着。それ以来、蛙は“ちび太”の生れ替りではないかと、“ちび太がえる”と命名され、安住の場所、脱衣場の窓ガラスへばりついて居る。朝、起きて、“ちび太”は健在かと窓を開けて覗いて見る。窓ガラスに写る“ちび太”の蔭を見て今日も元気かとほっとしてゐる。小母さんも毎朝眺めている吾が家のお客様である。

暑い日が続くので水撒きをと考え、玄関の石畳みに水を撒き、ついでに“ちび太”も暑いであろうと窓に水を撒いた所、翌

朝、窓ガラスの定位置に“ちび太”が居ない。家内に怒られるわ、小母さんには「折角馴れたのに」と皮肉を云はれる始末である。

夜、脱衣場でシャツを脱ぎ乍ら、ふと窓を見ると“ちび太”が居るではないか!!。「お母さん、“ちび太”が居るぞ」と大声で呼び、二人でガラス越しに“ちび太”を見る。今度は「そうっとして置こう」と云い乍ら窓を開けてみると、みどりの蛙がへばりついてゐる。

翌朝、早く起きて窓を見ると蛙が居ない。下の観音竹の植木鉢にも見当らない。探し廻った所、壁の換気孔の上にちょこんと座っているのを発見、やれやれと安堵。どうも夜は下に降りて、窓ガラス、植木鉢の虫を捕らえて居るのではなかろうかと皆で推測。朝、明るくなると又、安全な換気孔の上に鎮座するのであろう。

朝起きて、吾が家のお客様の存在を確かめるのが最近の日課である。

こんな出来事に情趣を感じるのも年の故であろうか?



協議会報告

平成10年度郡市医師会学校保健担当理事協議会

担当理事 前田昇一

日時：平成10年8月6日(木)

p.m.3:00~5:00

場所：県医師会館6F会議室

協議議題：

〔1〕たばこ問題について

美祢市医師会より、学校における教職員の喫煙対策として分煙を積極的に行い、青少年の喫煙防止を推進して欲しいと云った要望があった。これに対し、県教育庁体育課の野村課長補佐が、平成9年11月の山口県学校保健連合会が、県下小中高、特殊学校で行った喫煙に関するアンケート調査のまとめ（山口県学校保健連合会会報第14号掲載）を要約し報告された。その内容は以下の通りであった。喫煙者は平均で20%、喫煙に関する学校の対応として喫煙所のみで喫煙可は86.5%、全面禁煙は1%、自由10.6%、喫煙時間2.2%、喫煙対策機器は、有りが64.0%、空気清浄器7.5%、換気扇61.0%、喫煙対策委員会設置は2.6%に有り、児童生徒の喫煙防止教育は実施が74.0%、必要な今後の対策として、

- ①小学校からの喫煙防止教育の徹底。
- ②児童生徒の前での喫煙防止、受動喫煙防止。
- ③喫煙防止対策委員会としての学校保健委員会の活用。
- ④教職員に対する節煙・禁煙教育、喫煙対策への協力。

- ⑤全面禁煙、時間分煙、空間分煙を進める。
- ⑥管理職の姿勢づくり、学校での推進体制づくり。
- ⑦施設や設備の充実。

これらを喫煙者と非喫煙者の合意の上で進める。以上のような説明があり、続いて各都市からの意見交換があった。医師会としては、意外とこの問題には遅れていると云うか、宇部が取り組んでいるのと、下関が話し合い程度と他は、医師会としての取り組みは未だなされておらず、今後薬物乱用防止の問題とも併せて取り組む必要性が提起された。

〔2〕学校医研修について

神田理事によると、研修の必要性は云うまでもないことで、県医や各都市が各々に行っているものを今後さらに推進していく必要がある。児童生徒の心の問題は、現在個別に専門医に相談されているが、校医がそれにいかに関わっていくか今後の問題が残されるところである。また、日医認定学校医制の導入に関しても、今後どう対応していくか検討していく必要があると述べられた。

〔3〕各都市医師会からの意見要望について

学校腎臓検診ガイドライン（平成元年作成）の見直しが必要となってきた（下関）。学校医報酬について交通費込みとなっている点で税務上の問題の指摘があった（岩国）。

集団による内科検診のあり方に、もう少しプライバシーを配慮する必要性が指摘された(美祿)。通学路の確保と交通問題への要望(下関)。内科校医の複数制(生徒数600名以上で2名校医制から450名以上で2名校医へ)への要望(徳山)。学校医の産業医認定への問題(岩国)。以上のような意見要望があった(詳細は県医師会報に掲載)。

〔4〕その他

神田理事より、本日討議されたような学校保健に関する諸問題の情報提供や啓発が、父兄に充分になされていないように思われるので、今後積極的に取り組んでいくべきとの指摘があり、会が閉じられた。

学 術 講 演 会

日時 平成10年8月25日(火)午後7時～
 会場 光商工会館2F
 演題 新しい血管病治療薬としてのEPAの可能性
 講師 山口大学医学部生理学第一講座
 小林 誠 教授



8 月 度 定 例 理 事 会

定例理事会
 日時 平成10年8月12日(水)午後7時30分～
 場所 医師会事務局
 議題

- (1)医師会長会議の報告 (近藤会長)
 - (2)地域医療担当理事協議会の報告 (光武理事)
 - (3)救急医療担当理事協議会の報告 (光武理事)
 - (4)学校保健協議会の報告 (前田副会長)
 - (5)医事紛争担当理事協議会の報告 (前田副会長)
 - (6)a. パプア・ニューギニア津波の義援金について (県医師会より依頼…1万円送る)
 - b. 基本健診の記載事項について
 - c. 介護保健のモデル事業について
 かかりつけ医意見書の記載説明
 審査委員会へ藤村・河内山(正)・河村各先生を推薦(以上近藤会長)
- 出席 (近藤会長・前田副会長・吉村・藤原・光武・赤崎・松村理事)

心 電 図 研 究 会 (第 1 2 2 回)

第122回心電図研究会
 日時 平成10年8月7日(金)午後7時30分～
 場所 光商工会館2F
 出席者 14名
 症例1 64才 男 胸背部痛
 症例2 80才 男 胸痛
 症例3 60才 男 労作時呼吸困難

レントゲン勉強会

日時 平成10年8月4日(火)
午後7:00~8:30
場所 光商工会館(光市医師会事務局)
講師 徳山中央病院 健診センター長
岡本 安定 先生

新入会員紹介

光市立病院
沢近先生



ⅢⅢ あとがき ⅢⅢ

夏休みも終わり、家庭に静けさが戻ってくると、急に朝・夕の涼し
さが増して参りました。田んぼのあぜ道には彼岸花もそろそろ顔をの
ぞかせそうです。先日、山口で介護認定委員の為のセミナーが行われ
ましたが、色々な方面のエネルギーや情熱をはだで感じました。2年
後に向けてがんばりましょう。(河村)

光市医師会
〒730-0101 光市
一 徳山中央病院
二 健診センター
三 光市立病院
四 光市医師会事務局

会誌委員会

会誌編集委員会

会長 近藤 龍一
副会長 廣報 担当

〒430-0833 光市光井一丁目15番20号
TEL 0833-72-2234
近藤 龍一
廣報 担当

光市医師会報

光市医師会報は、光市医師会が発行する会誌です。光市医師会員の皆様へ、光市医師会の活動や、光市医師会員の皆様へのメッセージを伝えるために発行されています。光市医師会報は、光市医師会員の皆様へ、光市医師会の活動や、光市医師会員の皆様へのメッセージを伝えるために発行されています。

| | |
|-----|---------------------------|
| 発行所 | 光市医師会 TEL 0833 72-2234 |
| 発行者 | 近藤 龍一 |
| 編集者 | 廣報 担当 |
| 印刷所 | 光市光井一丁目15番20号 中村印刷株式会社 |